

株式会社オノモリ 環境行動計画

令和 4年 10月 19日

取組方針

株式会社オノモリは「社会的価値ある企業にする」を経営理念として、設計・開発から製作・組立までを自社一貫生産体制にて、顧客からの幅広いニーズに対応するモノづくりを行っています。

こうした当社のモノづくりを行う上で、環境との調和を図ることが責務であるとの認識に立ち、資源の有効活用により社会に貢献することを目指します。

このため、私たちは環境への負荷を低減させる改善活動を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での二酸化炭素削減
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 事業活動中での省資源(紙資源のリサイクルと節約)
- ④ 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

令和4年10月19日

株式会社オノモリ

代表取締役社長 小野森 守

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。なお、基準年は令和3年とします。

目標-1	二酸化炭素の売上高当たりの排出量を、令和3年を基準として令和5年までに1%削減する(325kg-CO ₂ /百万円にする)
具体的な取組	<p>(全部門共通の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昼休みの消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する。 ② 社用車のアイドリングストップ、無駄のないアクセル操作、控えめなエアコンを心がける ③ 空調使用時、室内温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に保つ。 ④ 空調はタイマー運転を使用しない ⑤ テレビ・電子レンジ・ポットは使用時以外はコンセントを抜く。 ⑥ 会議時間は1時間を超えないようにし、会議室の電力消費を抑える。 ⑦ 残業時間を削減し、電力消費を抑える。 ⑧ オンラインツールを活用し、出張や外出を減らす。 <p>(工場での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 組立工場の暖房は18度に設定する。 ② フォークリフトのアイドリングストップ・無駄のないアクセル操作を心がける。 ③ 空気漏れのあるエアホースはすぐに交換する。 ④ 充電式電動工具は充電完了後コンセントを抜く。 ⑤ 水銀灯のLED化につき、こまめな消灯を心がける。

目標-2	廃棄物の売上高当たりの排出量を、令和3年を基準として令和5年までに1%削減する(87.6kg/百万円にする)
具体的な取組	<p>(全部門共通の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物管理表(マニフェスト)の管理を徹底する。 ② 5Sを徹底し、資材の購入・廃棄ロスを減らす。 ③ 金属くず・プラスチック・スプレー缶は分別して回収し、リサイクルする。 ④ 使用済みウェスは回収BOXを設置し、リユースに努める。

目標一3	コピー用紙の売上高当たりの使用量を、令和3年を基準として令和5年までに1%削減する(1.22kg/百万円にする)
具体的な取組	<p>(全部門共通の取組)</p> <p>① 社内資料やメモ用紙には使用済みコピー紙の裏面を利用する。</p> <p>② 書類、資料は電子データ化を進める。</p> <p>③ 縮小コピーを利用するなど、レイアウトを工夫してコピー紙の使用量を減らす。</p>

目標一4	一般廃棄物の売上高当たりの排出量を、令和3年を基準として令和5年までに1%削減する(6.55kg/百万円にする)
具体的な取組	<p>(全部門共通の取組)</p> <p>① 指定ゴミ袋の使用量を削減する。</p> <p>② 紙類はリサイクルBOXを設置し、リサイクルに努める。</p> <p>③ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する。</p> <p>④ 消耗品は使用済み品の回収BOXを設置し、使用済み品と新品を交換する形式で支給する。</p> <p>⑤ 資料の保管は極力データ化を進め、将来の廃棄物を削減する。</p>

■ 環境行動計画の実施体制

総務部を環境保全活動の事務局、経営企画課を事務局の監査機関とし、3ヶ月ごとに各部署の具体的な取組状況、及び目標達成への進捗状況をチェックする。

各課から選出された委員で構成される環境美化委員会を毎月1回開催し、取組状況の確認や問題提起、及びそれらの全社員への周知を行う。